

YRS
ユアーズ

横浜ラポール
Support

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェーブ

第199号

トピックス

ラポール開館30周年を迎えました

1992年に開所した障害者スポーツ文化センター横浜ラポール(以下:ラポール)は、今年30周年を迎えました。

ラポールの開所にあわせ設置された横浜市の聴覚障害者情報提供施設(以下:情提)も今年で30歳。指定管理者制度導入への対応、法制度の開始に伴う事業の新設、通訳者制度の変更、被災地への職員派遣、そして先の見えないコロナ禍等々、大小さまざまな事柄があった30年でしたが、利用者・関係団体の皆様に支えられ事業を継続することが出来ました。心より御礼申し上げます。

さて、ラポールの30周年を記念し、9月26日、ラポール全館を会場に「ラポールの日2022」を開催しました。

今回は参加の条件を障害のある方とその介助者のみとし、一部プログラムについては事前申し込み制とするなど、会場が密にならないよう工夫しての実施となりましたが、コロナ禍に入って以来中止となっている「ラポールの祭典」の、あのお祭りの雰囲気久しぶりに戻ってきたように感じられました。プロの和太鼓演奏家、友野龍司さんによる勇壮な太鼓の音と響きで「ラポールの日」は開幕、心魂プロジェクトによるコンサートの他、各種スポーツ体験、アート体験などが開催され、館内は賑やかな声と笑顔であふれました。

情提でも「聞こえない世界をのぞいてみよう!」と題し、パネル展示の他、(一社)横浜市聴覚障害者協会と横浜市手話通訳者協会の協力を得て手話体験コーナーを実施、80人を超える方が参加してくださいました。来年は状況が好転し、よりたくさんのお客様をお迎えできればと思います。

横浜ラポールも情提も、今後も身近で利用しやすい施設であるよう、引き続き事業の充実とサービスの向上に努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



<上條館長挨拶>



<情提ブースの入口>



<手話体験コーナー>

普及・啓発事業

聴覚障害者向け健康学習会を開催しました

9月16日(金)にラポール上大岡と共催で『令和4年度第1回聴覚障害者のための健康学習会』を開催しました。この日のテーマは『筋肉と体脂肪』でした。まず、ラポール上大岡職員の栄養士より『筋肉と体脂肪』についての講座を行い、自分の現在のBMIを計算したうえで、BMIと肥満と痩せのリスクについての説明や、体脂肪率、食べる内容についての学習を行いました。次に、同じく上大岡の指導員がストレッチの指導を行いました。実際に体を動かし、椅子を使いながらのストレッチを行いました。このストレッチは、筋肉トレーニングを行う前の怪我防止に有効とのことでした。

実際に自分の現在のBMIを計算し、適正体重と脂肪率を数字で比較できたので実感しやすかったと思います。質問も活発になされていて、時間が足りないぐらいでした。次は、『筋力低下を防ごう』をテーマに11月18日(金)に行います。今回はストレッチでしたが、次は実際に筋肉を使うので汗をかくことが予想されます。参加される方は飲み物やタオルと着替えをぜひご用意ください。

※11月18日分の受付は終了しました。1月20日(金)は受付中です。



浜の会に参加しました

8月15日(月)、神奈川ろうヘルパー連絡会かもめの会「浜の会」茶話会がフクシアで開催され、相談員と普及啓発担当の2人で参加してきました。

参加者は、スタッフも含めて12人でした。9月16日(金)に実施される健康学習会のPRと近況などの報告をしました。10月から敬老パスがICカード型に変わるということで、使用シーンについての話などをしました。参加者から「敬老パス専用の読取機」があるとの情報もいただき、福祉特別乗車券との違いについての説明もお互いにしたりしていました。茶話会に参加されている皆様、暑さにも負けずに元気で交流されていましたので、元気を分けていただいた気持ちになりました。また機会がありましたら、顔を出しに行きたいと思います。

出前講座を行いました

8月18日(木)は六浦地域ケアプラザのデイサービスの職員の皆さまに向けて、出前講座を行いました。聴覚障害についての基本知識に加え、身ぶりや簡単な手話を用いて、聞こえない人とコミュニケーションする方法を、ゲームを交えながら楽しく実践しました。

10月8日(土)には、戸塚区平戸地区民生委員児童委員協議会にて、加齢性難聴についての出前講座を行いました。横浜市総合リハビリテーションセンターの言語聴覚士とともに、難聴と認知症の関係や聞こえのしくみ、補聴器の基礎知識、コミュニケーションで配慮すべきことについてお話ししました。

この後も各所から出前講座のご依頼を承っています。またこちらの紙面にて報告いたします。

～ 職員の異動がありました ～

【新採用】10月1日付

高橋 ひなた(たかはし ひなた) (聞こえの相談事業 言語聴覚士) 非常勤

手話通訳者課題別研修

「通訳センター業務と警察組織、高齢者講習等」

8月27日(土)、司法関連の研修として、オンラインによる研修を実施し、116人の参加がありました。

内容は、まず「通訳センターの業務及び県警組織について」神奈川県警察本部 通訳センターからお二人に講義をして頂きました。通訳センターでは外国語の通訳者の手配だけではなく、手話通訳者の手配、翻訳業務、通訳者のブラッシュアップトレーニング、手話講習等業務と多岐にわたっていることがわかりました。また、県警職員としてはスキルアップだけではなく、時代の流れに沿って知識や対応等アップデートしていく必要があるとのお話には、通訳者にも通じるものがあると思いました。県警組織については、担当課と業務内容の説明があり、理解を深めることができました。

もう一つは運転免許センター 高齢運転支援室より「高齢者講習、違反者講習について」講義をいただきました。具体的な講習内容がわかり、今後通訳に行く際の事前学習に生かしていくことができるものでした。

手話通訳者全体研修「当事者研究について」

9月10日(土)に宮城教育大学 教授 松崎 丈先生を講師に、「手話通訳利用者の当事者研究」をテーマにお話いただきました。講義はオンラインで実施し、104人の参加がありました。

今回のテーマにある「当事者」とは「困りごとをもつ人」自身のことで、自らの困りごとをテーマにして、研究を行うことを当事者研究といいます。わかりやすい講義で、ご自身の大学院時代の経験から、情報保障のシステムを作った経緯が興味深かったです。

参加者からは『「当事者」を『困りごと』にあてはめてお話いただいたので、講義の内容がすんなり入った』『「通訳者による『当事者』研究を進める場合の注意ポイントが欲しい。』など、積極的な質問がありました。

今後も、通訳利用当事者の声をお聞きし、日々の通訳活動につなげることができるような研修の機会を作っていきたいと思います。

要約筆記者現任研修（7月・9月）

「実技研修～要約と要約技術、利用者視点から学ぶ～他」

<手書き要約筆記>

7月、全国要約筆記問題研究会から小森講師をお招きしました。削除や省略は要約筆記に不可欠な技術ですが、話しの流れや展開をわかりやすくするため、時には必要な言葉を補い、話者の意図や感情を読み手にわかりやすく伝えることの重要性を改めて学びました。

9月は会議場面の模擬研修を行いました。疑似の難聴状態を作り、難聴者役として会議に参加する研修です。実際に難聴者が会議に参加した時に起こる不都合さを実感できたという感想はもちろん、難聴者が会議に参加するために、要約筆記者として注意すべきこと、工夫できることなど、多くの気づきを得られた研修となりました。

<パソコン要約筆記>

7月は経験年数ごとに2部屋に分かれ、それぞれの年数で派遣されることの多い現場に合わせた模擬研修を行いました。2部屋に分かれることで、より少人数で意見交換のできる良さもあり、年に数回このような方法での研修を取り入れています。

9月は横浜市中途失聴難聴者協会からゲストをお迎えし、「利用者の視点から学ぶ」研修を行いました。情報量はもちろん多い方が良いのですが、画面に表示される文字数や一文の長さによって情報の理解のしやすさが違うことなど、利用者の視点から考えることの大切さを研修を通して学びました。



聴覚障害者情報提供施設年末年始の休みについて

	12/28(水)	12/29(木)	12/30(金)	12/31(土)	1/1(日)	1/2(月)	1/3(火)	1/4(水)
職員	○ ラポールは休館	×	×	×	×	×	×	○ ラポールは休館
FAX メール LINE	17:00 まで ○	×	×	×	×	×	×	9:00 から ○

年末年始の緊急時について

年末年始は多くの医療機関が休診となりますので、各区にある休日急患診療所をご利用ください。
日本財団電話リレーサービスを利用した緊急通報や問い合わせが可能です。

機関名	FAX番号	電話番号	対応時間	手話通訳
横浜市消防局	119 (横浜市内)	119	無休/24時間	○
神奈川県警察	0120-110221	110	無休/24時間	○
横浜市救急相談センター	045-242-3808	045-232-7119	無休/24時間	×
横浜市コールセンター	045-664-2828	045-664-2525	無休/8時~21時	×



(9月末までの累計)

■通訳者の派遣・紹介人数

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	2,698	46	2,744	3,269	医療	122	183
司法	20	8	28	21	職業	26	43
教育・保育	367	15	382	240	教育	0	0
労働・雇用	298	24	322	309	住宅	19	36
社会生活	525	18	543	1,016	生活	173	252
自己啓発	108	7	115	61	福祉	167	264
福祉推進	585	518	1,103	780	法律	9	27
介護保険	984	1	985	1	聞こえ	38	39
他都市	19	1	20	27	合計	554	844
合計	5,604	638	6,242	5,770	昨年同月	457	843
昨年同月	5,252	518	5,770				

■聴覚障害者の相談

■通訳者の現任研修

手話	回数	15	参加人数	601	映像・字幕制作	自主制作作品数	35
要約筆記	回数	19	参加人数	293			

■映像・字幕制作



9月

- 9 情提協議会第三ブロック会議(オンライン)
- 10 通訳者全体研修(オンライン)
- 11 手話講師養成モニター講座(横聴協)
- 14 要約筆記現任研修
- 16 聴覚障害者対象健康学習会(1/3)
- 22 区役所配置通訳者説明会(オンライン)
- 25 ラポールの日
- 26 衛生委員会

- 26 聞こえの相談事業運営委員会
- 27 要約筆記一年次研修
- 28 主管局定例会
- 28 横聴協との協議

10月

- 4 要約筆記一年次研修
- 4 手話登録試験委員会(横聴協)
- 6 情提協議会意思疎通支援委員会(オンライン)
- 6~7 定期健康診断
- 8 出前講座(戸塚区平戸地区民児協)
- 12 要約筆記現任研修

- 18~19 字幕付き演劇会
- 18 出前講座(旭区民児協)
- 20 出前講座(青葉区民児協)
- 23 ホッチポッチミュージックフェスティバル参加
- 24 衛生委員会
- 26 手話ブラッシュアップ研修
- 27~11/1 全スポ大会選手団帯同(栃木県)
- 27 出前講座(青葉区民児協)
- 27 事業団階層別研修
- 28 県地域福祉課との協議(手話言語条例関係)
- 29 手話通訳者全体研修(オンライン)
- 30 手話講師養成モニター講座(横聴協)

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日:令和4年10月31日

発行者:(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>